

	筑波大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	<p>医学群看護学類（第1年次：70名、第3年次：10名） 医療科学類（第1年次：37名、第3年次：3名） 人間総合科学研究科 看護科学専攻（M：15名、D：8名）、ヒューマン・ケア科学専攻（D：18名）、 フロンティア医科学専攻（M：50名）、生命システム医学専攻（D4：28名）、 疾患制御医学専攻（D4：34名）、感性認知脳科学専攻（M：14名、D：10名）、 スポーツ医学専攻（D3：12名）</p>
沿革・設置目的	<p>昭和53年（1978年）に、筑波大学に医療技術短期大学部が併設された後、平成14年（2002年）、看護・医療技術に関する教育・研究を行うことを目的とした医学専門学群看護・医療科学類として設置された。</p> <p>昭和48年（1973年） 筑波大学設置 医学専門学群設置</p> <p>昭和53年（1978年） 医療技術短期大学部併設</p> <p>昭和54年（1979年） 大学院修士課程医科学研究科設置（平成18年（2006年）人間総合科学研究科に改組）</p> <p>昭和55年（1980年） 大学院博士課程医学研究科設置（平成13年（2001年）人間総合科学研究科に改組）</p> <p>平成14年（2002年） <u>医学専門学群に医学類、看護・医療科学類設置</u>（平成19年（2007年）医学群医学類、看護学類、医療科学類に改組）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成19年（2007年） 大学院人間総合科学研究科看護科学専攻（修士課程）設置</p> <p>平成21年（2009年） 大学院人間総合科学研究科看護科学専攻（博士後期課程）設置</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 筑波大学の理念等に基づき、高度化する医療に対応し国際的に活躍できる高度専門職業人、および優れた学際研究を計画・実行できる研究・教育者等、次代の看護学の創造や臨床検査学・医科学の発展を担う人材を共通教育プログラムに基づく教育をもって育成する。</p> <p>○ 地域医療を支える医療人の育成に向けて、大学と地域とを循環し地域包括ケアを担う人材を育成するキャリアパス構築や、専門看護師育成に</p>

	<p>おけるe-ラーニングの活用や看護師復職支援モデルの構築等、先導的な人材育成モデルの構築を積極的に推進する。</p> <p>○ 看護学・臨床検査学・医科学分野と他分野との学際的研究連携や産官学連携を活かし、生活支援ロボットの実用化研究やアレルギー疾患・自己免疫疾患等の発症機構と治療技術に関する研究等をはじめとする、未来型の医療システムの実現や国際貢献に向けた研究を積極的に推進する。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------